

クライマテリア ストンアート
バーナーSA
施工の手引き

【初版】令和元年 6月

【改訂】 年 月

アイカ工業株式会社
化成製品カンパニー福島 R&D センター

＜使用材料＞

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下地調整材	クライマテリア ストンアート JM-50 色品番：CS□□ (□・・・数字)	アクリル共重合樹脂 下地調整剤	20kg/缶	約 20 m ² /缶
主 材	クライマテリア ストンアート JP-50 色品番：CS□□ (□・・・数字)	アクリル共重合樹脂 水系仕上塗材	20kg/缶	約 11.4 m ² /缶
骨 材	クライマテリア ストンアート JF-50	ミックス骨材	(10 kg袋入 約 5.7 m ²)	
専用ローラー	J R - 1 9 8	バーナー 専用ローラー	—	
入隅施工用 専用シート	J R - 1 9 8 S	バーナー 入隅用シート	—	
転写液	J T - 1 8 0 N	専用転写液	14kg/缶	約 182 m ² /缶
			3kg/缶	約 39 m ² /缶

＜主な施工道具＞

- ・ リシガン (口径Φ 4 mm) またはジュラクガン (Φ 6 mm)
- ・ コンプレッサー： 2. 2 kW (3 馬力) 以上 (1 台使用の場合)
- ・ マスチックローラー (標準目)
- ・ 金ゴテ
- ・ 霧吹き (転写液噴霧用) キャニオンスプレー SAN2439 (推奨)
- ・ 専用ローラー (J R - 1 9 8)
- ・ 入隅施工用専用シート (J R - 1 9 8 S)
- ・ 中毛ローラー又は短毛ローラー

＜下地調整＞

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<バーナーSA施工方法>

1. 下地調整材(吹付けの場合)

配 合	JM-50	20kg
塗 布 量	1.0kg/m ²	
施工方法	リシガンΦ4mmまたは ジュラクガンΦ6mm	
吹き圧力	0.5~0.7MPa	
施工概要	下地モルタルが透けて見えないように (吹き残しがないように)吹き付ける。	

1. 下地調整材(ローラー塗布の場合)

配 合	JM-50	20kg
塗 布 量	1.0kg/m ²	
施工方法	マチックローラー (標準目)	
施工概要	下地モルタルが透けて見えないように 塗布する。	

12時間以上48時間以内
乾燥を確認後、次工程に移ってください。

2. 主材 配り塗り

配 合	JP-50	20kg
	JF-50	20kg
	清 水	約1.0ℓ
塗 布 量	約3.5kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて平滑に材料を配る。	

追いかけ (5分以内)

3. パターン付け

<ul style="list-style-type: none"> ・塗膜に転写液JT-180Nをスプレーで塗布する(図1)。 ・専用ローラーJR-198に転写液JT-180Nを塗布する(図2)。 ・配り塗りした塗材が乾燥しないうちに、JR-198を縦横方向に転がし、パターン付けを行う。(図3)
--

夏期36時間以上

冬期48時間以上

※転写液JT-180Nは乾燥が遅いため養生は十分にとってください。

<施工のポイント>

- ・塗膜に転写液JT-180Nをスプレーにて塗布する。

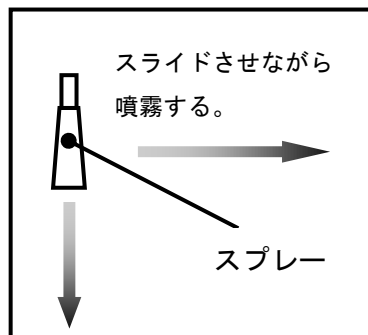
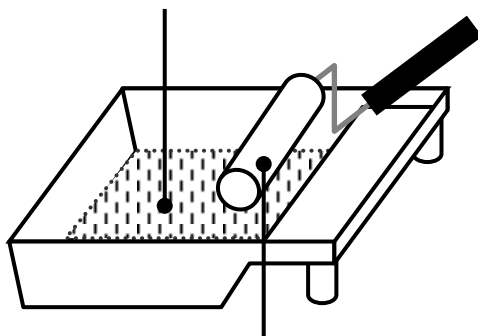


図1

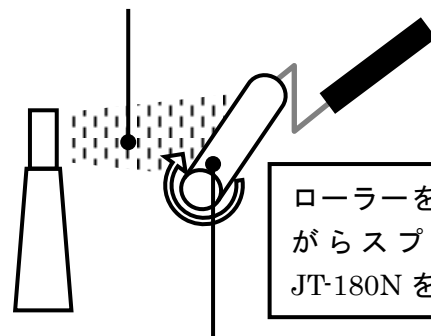
- ・専用ローラーJR-198に転写液JT-180Nを充分塗布する。

転写液 (JT-180N)



JR-198 (バーナー専用ローラー)

転写液 (JT-180N)



ローラーを回しながらスプレーで
JT-180Nを噴霧

図2

- ・ ローラーは、縦横方向に転がす。(図3)
- ・ 等間隔にローラーを転がすとつなぎ目が目立つことがあるため、隣のパターンと5～10cm程度、交差させつつ、ある程度ランダムにローラーを転がす。

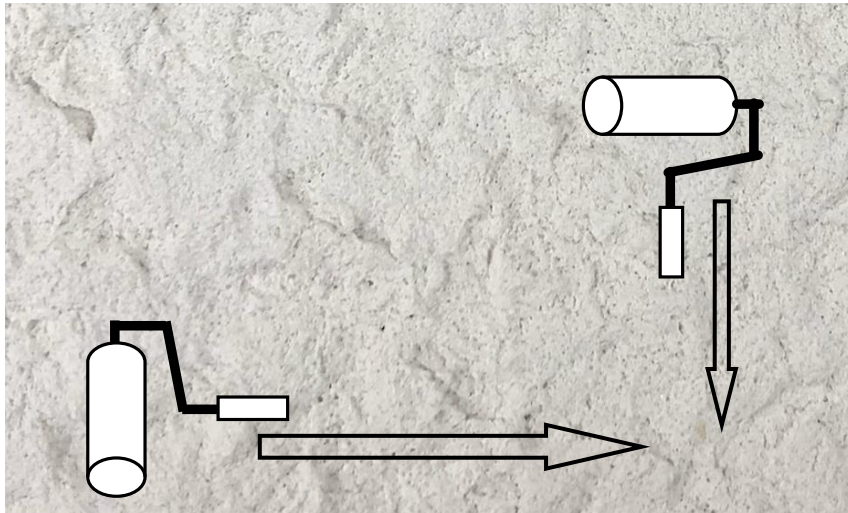


図3

・ 入隅の施工方法

専用シート(JR-198S)に転写液を十分に塗布する。現場にある空き缶など巻きつけてパターン付けを行う(写真左)。シートを壁面に押し付けパターン付けを行うことも可能(写真右)。



写真 入隅シートの使用例

＜施工の注意事項＞

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行い、気温5℃以上、湿度85%未満として下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 配り塗りは、均一に塗布して下さい。塗布量が少ないとパターンができません。
- ・ 転写液は十分に専用ローラーに塗布して下さい。転写液を十分に塗布しない場合、ローラーに塗材が付着しパターンができません。
- ・ 転写液を過剰に使用すると、塗膜の乾燥が遅くなります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。
- ・ 転写液JT-180Nが床などに飛散した場合、非常に滑りやすくなるので転倒にご注意下さい。
- ・ 施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤等で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用下さい。
- ・ 器具を洗浄した水を河川、側溝への施流は避けて下さい。
- ・ 転写液JT-180Nを噴霧する際は保護具を着用し、吸い込みのないようご注意ください。
- ・ 転写液JT-180Nを噴霧する際は溶剤を噴霧可能な霧吹きをご使用下さい。一般的な霧吹きを使用した場合、霧状に噴霧することが出来ない場合があります。
- ・ 気温5℃以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ ローラーは使用後速やかに洗浄してください。洗浄の際は中性洗剤を使用してください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

- ・ 施工する際は下地表面に結露(濡れ)が無い事を確認した上で施工してください。

以 上